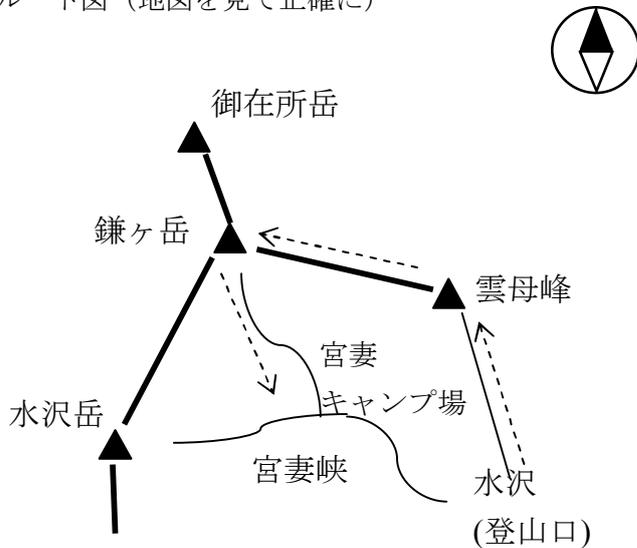


8 月 度 例 会 山 行 報 告 書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 SL 杉本 孝 油井 武 部外者 3 名 (雲母峰までは 9 名)
個人		報告日	09/29		
山 域	鈴鹿山域	山行日	09 年 08 月 29 日(土)		
山 名	鎌ヶ岳～雲母峰				
山行目的	親睦と富士山へ向けての体力トレ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図 :

8/29 曇り時々晴

05:30 豊橋発  
07:30 御在所 SA  
(杉本、油井さんと合流)  
08:30 志雲館着  
他メンバーと合流  
08:50 雲母峰登山口着  
09:00 登山口発  
09:30 中間点 一本(5分)  
10:00 一本(5分)  
10:25 雲母峰Ⅱ着 一本  
10:50 雲母峰Ⅱ発  
11:00 雲母峰(本峰)  
11:10 (北向尾根?分岐)  
11:20 道迷い判明引返す  
11:30 (北向尾根?分岐)  
11:55 平坦部一本(10分)  
12:40 スズメ蜂に刺される  
12:43 一本(20分)  
13:20 白ハゲ 一本(15分)

13:50 宮妻峡分岐  
14:10 岳峠  
14:20 鎌ヶ岳山頂  
14:35 鎌ヶ岳山頂発  
14:45 岳峠  
14:55 宮妻峡分岐  
15:40 一本(10分)  
16:30 宮妻峡登山口  
16:45 志雲館着

8/30 晴

夜間から未明の雨(ヒル  
出没可能性)と私の蜂刺さ  
れ騒動の為、本日の仙ヶ  
岳登山は中止。希望者は、  
パラグライダーのタンドム  
フライトを楽しむ。

〈山行報告〉御在所 SA で刈谷組と合流し、水沢の志雲館を目指すが、雨がまたもや降り出した。今日も、雨か？と、落胆しつつ車を走らせる。志雲館で他メンバーと合流、挨拶をして早速、登山口へ急ぐ。パラパラと降る雨の中、準備をしてパラグライダー屋さんの杉元先輩をトップに全員で出発。我々、鎌ヶ岳登山隊は、後ろをゆっくりついていく。予定通り 1 時間半で、雲母峰Ⅱへ。ここで、体調をチェックし、鎌を目指すか？パラグライダー見物か？を決定。妻も含めた 6 人で鎌を目指すことにし、10:50 に出発。雨も、今日はもちそうだし、さ〜リベンジだ！雲母本峰へ 11 時に難なく到着。しかし、これから先の登山道が不鮮明だ。目印となるテープも見当たらず、尾根上を忠実に辿っていくも、北へ向かっている。“おかしい！西へ向かわなくては！” トップの杉本君を停止し、地図とコンパスで確認し北へ延びる尾根を歩いていると判断し引き返す。目印となる赤い杭(測量用?)の場所(北尾根分岐と推測)まで戻り、コンパスを頼りに西方向へ尾根と思われる所を忠実に辿る。やがて、本来の登山道に遭遇し、テープの目印も見つかった。杉本君にトップを交代し、先へ進む。平坦な場所へ出た所で一本。やがて、ガレ場が現れ出し、どでかい蜂が飛び回り出した。4 人がガレを通過した所で、数匹の蜂が前を行く谷田さんの目の前に集まってきた。立ち止まってしまった谷田さんに、「大丈夫だから、行くよ！」と声をかけた瞬間、左膝に“ブスッ”と激痛が走る。“しまった！”と思い、「早く！」と叫び、その場を通過、左膝のズボンに留っていた蜂を思わず叩き潰しガレを離れ樹林の急坂に差し掛かった所で、急遽、一本。ズボンを

脱ぎ、刺された部位をマキロンで消毒、痛みをこらえ、妻に指で毒を絞り出してもらおう。足に力が入らず、呼吸もハ〜ハ〜と軽いショック症状。足の痺れのような感触が消えるまで休憩。下山するにも、ここは進むしかない、痛みを我慢し、足の様子を見ながら先へ進む。白ハゲのガレ場で、杉元先輩と交信、状況を伝え 5 時頃に迎えを要請。岳峠で、私と妻は待機し、4 人で鎌の頂上へアタックしてもらった。全員合流後、急いで宮妻峡を目指し、4 時半に下山し

〈リーダー所見〉

スズメ蜂に刺されるというアクシデントもあったが、富士山を目指すメンバー全員のいいトレーニングになったと思う。又、地図とコンパスを使ってのルートファインディングの実地訓練もいい経験になった。蜂だけでなく、山中ではマムシ等の毒蛇もいるし、この面でのリスク管理(毒抜き器や、アレルギー抑制薬の持参等)や救急・応急処置の勉強も必要と思った。



雲母Ⅱ峰にて

楽しむ



鎌ヶ岳山頂

確認  
(リーダー)

津田

09.9.29

作成  
(報告者)

津田

09.9.29